

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	高砂市立伊保南小学校 教諭 中谷 健人	研究グループ名 ことばの力向上グループ	31
-------------	------------------------	------------------------	----

研究テーマ分類番号 (6)

(1) 研究テーマ	
伝え合うことを通して「ことばの力」の向上を図る	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
4月～5月	研究計画立案 自主研修活動全体について研究主題、本年度の研究の重点目標を決定し、今後の研修計画について共通理解した。 授業参観チェックシートを作成し、授業研究の視点を明確にした。
5月 1日	授業研究 5年算数科「体積」 場所：高砂市立伊保南小学校 参加者12名 内容：1m ³ の量感を養うことを軸におき、ICT機器の活用による視覚支援および話し合い活動と算数表現力の向上との関連について協議した。
6月～2月	一人一授業 研究推進の実施
6月17日	授業研究 1年算数科「ふえたりへったり」 場所：高砂市立伊保南小学校 参加者12名 内容：場面を示す言葉に着目させ、数の増減が順思考になっていることに気付かせる授業展開について協議した。
6月25日	授業研究 4年算数科「式と計算の順序」 場所：高砂市立伊保南小学校 参加者12名 内容：分配・結合・交換法則の思考を促すために、25や100等、複数の数量が関連する際に「使いやすい数」であることに着目させる指導が効果的であることを協議した。
7月 7日	授業研究 2年算数科「1000までの数」 場所：高砂市立伊保南小学校 参加者22名 講師：大学講師 内容：数の大小についての数概念を形成していくために、上の桁と下の桁を比較させる授業展開について協議した。

8月20日 算数授業づくり研修会

場所：高砂市立伊保南小学校 参加者20名

講師：大学講師

内容：算数科における「数概念形成単元」を研修内容として、学習課題の設定・発問・指導案作成上のポイント等について実践的研修を行った。

多様な考え方を比べ、自らの考えを練り直す力の育成

※ 児童が自分たちで課題を解決できたという達成感を持てるかが重要

(1) 学習のめあてが明確である

- ・活動が授業のめあてにならないようにする

(2) 次の2つの場面の相互作用が必要となる

- ・自分の考えを構築したうえで、全体の中での自分の立ち位置を意識する場

(自分の考えを持つ 自分の考えを伝える 比べながら聞く)

- ・それぞれの考えを表出し、自分の考えとの差異から自分の考えを再構築する場

(3) 自分の学びを振り返る場が必要である

- ・自分の考えを確かめ、深めたり高めたりできる

9月26日 授業研究 2年算数科「ふえたりへったり」

場所：高砂市立伊保南小学校 参加者12名

内容：低学年において、順思考を基礎として、逆思考も想定したより効果的な計算の順序性とその意味づけを指導する方法について協議した。

9月29日 授業研究 4年図工科「宇宙へ飛び出そう」

場所：高砂市立伊保南小学校 参加者11名

内容：宇宙を想像させながら、惑星の絵を切ったり組み合わせたりして全体の構成考えるために、一人一人のアイデアをグループや全体で交流し合い、自分の作品づくりに生かすことの意味や互いの作品を鑑賞し合い次時の授業への意欲につなげる意味について協議した。

10月 1日 授業研究 4年算数科「面積」

場所：高砂市立伊保南小学校 参加者13名

内容：方形（正方形・長方形）や三角形の面積立式を基礎知識として活用し、平行四辺形や台形の面積を思考する授業の意義について協議した。

10月 1日 授業研究 2年音楽科「むしのこえ」

場所：高砂市立伊保南小学校 参加者12名

	内容：作って表現する活動領域において、さまざまな楽器および音素材を使い、フレーズを集団思考する授業の有効性について協議した。
10月 7日	授業研究 1年算数科「3つのかずのけいさん」 場所：高砂市立伊保南小学校 参加者13名 内容：低学年における文章題の正確な読み取りと立式について、場面絵を用いて指導することにより順思考が促されることを提案し協議を深めた。
10月 9日	授業研究 6年算数科「比例と反比例」 場所：高砂市立伊保南小学校 参加者11名 内容：文章によってあらわされた「ともなうて変わっていく数量」の関係が比例であるか反比例であるかを判断するために、どのように判断の根拠をもたせ、自分なりの言葉と方法で説明させるのかを協議した。
10月20日	授業研究 特別支援学級生活単元学習 場所：高砂市立伊保南小学校 参加者10名 内容：ハロウィンパーティーという生活行事を題材として、司会進行・発表・集団遊び・飾り付け・衣装等の事前準備と当日の活動を展開し、個に応じた表現と自立に向かう学びの質について協議した。
11月17日	実践記録の書き方について協議し共通理解を図った。
11月21日	授業研究 5年算数科「平均とその利用」 場所：高砂市立伊保南小学校 参加者18名 講師：大学講師 内容：児童が学習課題を正しくとらえるための導入のあり方や多様な考え方を比べ児童自らが課題を追及し解決していくことについて協議し、共通理解と確認を行った。
	【今後の予定】
12月15日	授業研究 6年道徳「命のビザ」
1月21日	授業研究 3年算数「べつべつに いっしょに」
1月28日	授業研究 3年算数「べつべつに いっしょに」
2月 2日	授業研究 5年算数「○と△を使った式」
2月	1年間の振り返りと次年度への課題について検討する